

井口 総務部長

1 通達を以て
2 改定事項を以て送付

0365

一、各士舎への部隊の巡回を塔の肉
 俵の月末日と多し様押出すが、軍
 の幹部等も皆その如く了申用意
 せよといふ事あるも、佐野 総務力
 の 田代 の事などいふが、其他

Replacement Center (米口 の新 入 の事)
 Hospital Center (米口 の 入 の事)
 Post Office Center (米口 の 入 の事)

たの 米口 Center が交通の肉係上この地
 に 米口 の事などいふが、其他
 甲 米口 の事などいふが、其他

A-1-0-0-2

二、目下 米口 の Office も 米口 の 入 の事
 Office の 米口 に 米口 の 入 の事
 部 米口 の 入 の事
 一 米口 に 米口 の 入 の事

米口

行んとか早く正式に地方
 強心にしこいいいんてい
 たいらき際とあるを金地
 中筋の
 として香板もせしこるま
 すし
 ころころとやうこるま
 すやう

0366

三、 養心齋のさほとこ
 ちか
 こころの司令えん
 ちか
 判りか
 現正下中
 ちか
 ちか
 ちか

十月二十三日
 徳島
 平

朝海
 高田

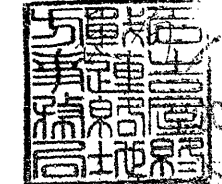
總務部

名連第一口号

昭和三年十月三十日

終戦連絡名古屋地方事務

倭島局



終戦連絡中央事務局

児王總裁閣下

歩軍進駐状況(二)

A:100.2

- 一、二十三日二十師團麾下、部落名古屋港、六百名以上降、内二百名岐阜、約四百名、四軍世、残余師團司令部及富士、紡績工場、其他市内徹究建物ニ入り
 - 二、二十七日陸軍力約七千名、内一千名、岐阜、約四百名、岡崎、約三百名、四軍世、其他、全部、名古屋市内、徹究建物ニ入り
 - 三、二十八日約三千名、岐阜、約三千名、八百名、四軍世、約千名、名古屋、幼年學校、約九百名、名古屋附近ニ入り
- 合計三日間ニテ、一、万五千名ナリ

外務省

0367

①

四、靜岡縣、進駐ニ関シ、去月二十三日、二十師團司令部、及、將校三名、靜岡、浜松、島田、ニ派遣シ、概況ヲ觀察セ、シメ、加、部隊、本格的進駐ハ、来月、早々行ハル、概ナリ

外務省

0368

總務

一課長

支

昭和三十年十月十九日

高橋一造 總務

總裁官房

新潟地区に於ては通航軍二年案件

標題、件名、内容、参考、送付、左記、通報、告入

記

一、新潟縣、通航軍受入情況

新潟縣に於ては、戦事終結の圖解正起、二、

諸般ノ事態ニ対応スルニ付、昭和三十年九月廿日新潟

電信業

在外公館

0370

將廳より別紙規程ノ如ク新潟縣通航軍受入ノ設ケ
 之カチ事務處理ノ準備ニ當ラシムルト爲ニ縣事務官
 ヲ神奈川縣ニ派遣シ、^シ藤井軍通航軍受入ノ
 受入情況ヲ調査セシムル等着端、準備ヲ爲シ、^右
 キタル為、昭和三十年九月二十五日米字、新潟地区
 通航軍受入ノ準備、^上進航軍受入ノ準備、^上通航軍事務處理ニ當ラシムル
 進航軍受入ノ準備、^上進航軍受入ノ準備、^上通航軍事務處理ニ當ラシムル
 米字ノ編號ハ六五七二名ニ達シタルニ付、各地ト既述

電信業

外務省

0369

龍軍上密接して進出する係属三名今日迄ノトコト何等
ノ支障ナク追龍軍全隊市警隊理ヲ遂行シ去
レタ

二新潟各地城山龍軍脱走数(昭和二十年十月一日現在)
道東南始九月二十五日

新潟市 一三八二名

高田市 一六七三名

柏崎市 七〇一名

電信案

外務省

三條市 五七二名
村杉町 一八三名
新發田町 九六一名

計 六五七二名

(註別紙同示参照)

三師團司令部所在地警司令官等進出後

師團司令部ハ新潟市公會堂内ニアリ

野師團長 久三十一少將

電信案

外務省

新潟縣令般、道沿辨後、バンデクスン申候
 新潟市に於て、道沿辨候ハバンデクスン申候及オニール大尉
 四道縣令ノ要也

米子軍勢、新潟、道沿、理、口、昭、新、三、十、年、九、月、二、十、六、日、司、令、官、分、二、イ、ナ、リ、申、辨、ハ、縣、知、事、ト、合、見、
 辨、上、概、要、考、究、ノ、要、也、
 記

(一) 道沿、
 新潟、
 新潟、
 新潟、

電信案

外務省

(二) 野菜ハ、
 (三) 重要事項、
 精、
 (四) 軍需製造工場、
 製造、

平和、
 新、

電信案

外務省

電信案

(五) 武器(軍用保管)一覽表ヲ提出スルコト。

(六) 軍用材料保管ヲ命セラルル保管物及一覽表ヲ提出スルコト(精製ヲ作製檢査ス)

(七) 兵隊ノ生活及權利ノ侵害ヲ防止スルコト。

(八) 兵隊ノ健康ヲ維持シ中宿舎兵舎ノ使用料ヲ管理費等ハ中央ノ負担關係ヲ決定シ聯合軍兵隊行ノ際ノ宿舎兵舎ノ設備人ノ管理費等ノ個々ニ又ハ兩國

外務省

(日本國海軍省)

電信案

ニ於テ支拂ス

其他至急ノ負担ノ細部ニ付テハ具體的ニ決定シ上通知ス。

(九) 國外引込船隻ノ取締ヲ欲シテ之ノ必要價格ヲ取立ルコト。若シ船主表ハ閉鎖スルハ之ヲ断スルカモコレナシ。

(十) 船隻施設ノ調査ニ付テハ之ヲ入港禁止スル(船隻ノ調査同查作成)

(二) 今後ノ兵舎等ノ修理ノ事ニ於テ行ハス。

外務省

(日本國海軍省 B5)

電信案

外務省

(一) 兵ノ市法行爲ニ宜兵備校ニ送後モラシクイ

(二) 日本ノ再建ハ帝室ニ

(三) 後援部隊ガ到着ス迄ハトクハ軍用車ヲ送シテ

セシムル

(四) 道地ノ送致標旗ヲ至急持参スル

(五) 新潟ニ於テノ連兵備校ニ向テテ中修及テニ以テ

ナリ

電信案

外務省

(一) 兵ニテラスニ中修ハ新潟縣令股、連兵備校ニ

記

爲ニ後進送致標旗ヲ通シテ提スル也

道地ノ

(二) 宜兵ハ一般民衆ニ送テハナシ。コトヲ得サレバ場令ハ警

察官ニ一併ニ送テ入ル。警備ニ日本警備官ト

同行シテ行ス

爲ニ後進送致標旗ヲ通シテ提スル也

道地ノ

ナリ

師團長より命じられたこと、従って各道宛地ニ於テ
 解決ニ難キ事攻ムアラムに在リ申出ラレタキスト、
 一
 (一) 總テ、調査報告ハ正速ニ作成セラルベシ
 (二) 所定ノ検査ノ捜査ハ各々ノ様ニ師團命令ヲ奉テ、
 (三) 如何ナル傳染病流行ノ類トモ之ニ速ニ報告セラルベシ
 (四) 一ニ、消毒等ノ事由ハ既述ノ所ニ準テ、要ルニ行ク軍人
 アリヤニ因テカ之ハ既述ノ所ニ準テ、要ルニ行ク軍人
 外務省

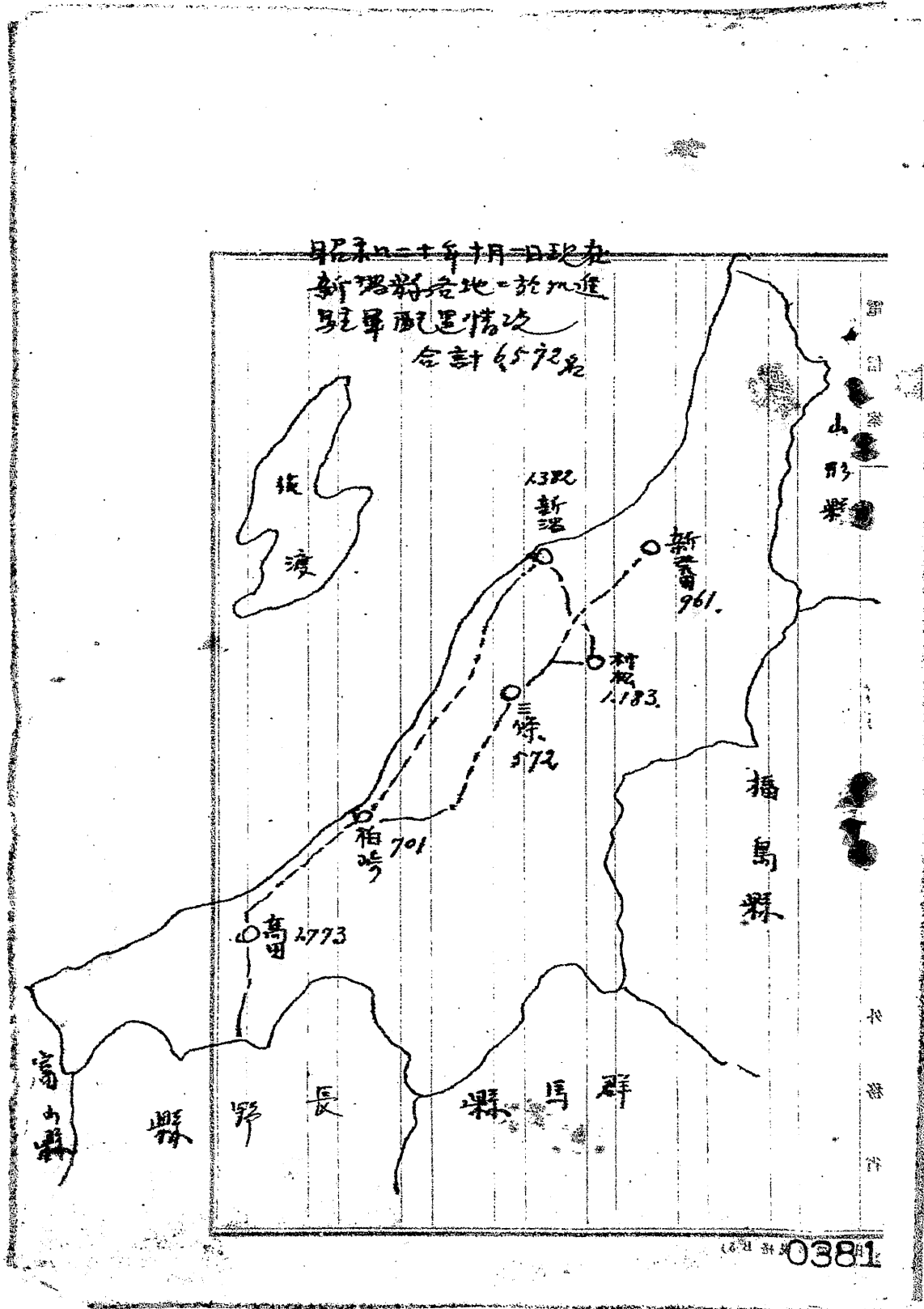
電信案

外務省

(五) 併發症有ルニ其旨ハ要ルニテ、即チ報告セラルベシ
 絶体郵務セラルベシ
 (六) 神社寺院ハ其ノ基上ニ祀奉ルニ在リ、但シ、後日、何等ノ人々ニテ
 總儀ノニ及ラズルニテアリ、此ノ場合、指テ、奉ケテ之
 送テ、若シ、神社寺院ハ、一ニ、其ノ基上ニ在リ、場合、凡レ、其ノ旨
 ニアラス、如何ナルニ依ルニ、其ノ旨ヲ、解致セラルベシ
 外務省

電信案

外務省



新編陸軍連絡室規程

- 第一條 戰爭終結ニ伴フ特殊措置ニ關スル連絡事務ヲ行フ爲
- 本連絡室ヲ置ク
- 第二條 本連絡室ニ長一員ヲ置キ知事之ヲ附シ
- 副室長二名
- 室員若干名
- 第三條 事務處理ノ爲必要ニ應ジ連絡會議ヲ開催ス

事務第一課

金普通第六號

昭和二十一年三月三日

終戦連絡金澤出張所長

多田



終戦連絡中央事務局

總裁 吉田 茂 殿

金澤駐屯警備隊撤退ニ關スル件

當地駐屯聯合軍警備隊（G中隊約百拾名）ハ三月二日撤退
シ岐阜ニ赴キタリ後任警備隊ノ來着如何ニ關シテハ目下ノ處
判明セズ

右報告申進ス

本信寫送付先 京都事務局長

外務省

記録簿

0383

0382

終戦事務部

終戦舞第二九號

昭和二十一年十月十日

終戦連絡舞鶴出張

終戦連絡中央事務局

御中

舞鶴駐屯聯合軍部隊に關する件

舞鶴駐屯第二十五師團第三十五聯隊所屬枝隊は最近極めて少數の殘留小隊(三十名程度)を殘し全部舞鶴を引揚ぐるに至った。同部隊の駐屯場所たる元海軍兵學校舞鶴分校は聯合軍の命を承り京都府廳に於て警衛に當り居り日本側にタイン、

大イヤーとされないのである。部隊の入鶴如何は目下の處不明である。

尚當地には京都軍政チームのデタッチメント(支部長軍曹)並にCIC舞鶴支部(支部長少尉)が存し何れも極めて小規模である。何等御参考迄右報告申進する。



15

近畿地区進駐関係

OFFICE OF THE SUPREME
COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS

A.F.O 500
9 September 1945

AG 600 (9 Sep 45)60

SUBJECT: Areas and Facilities in Osaka-Kyoto-Kobe-Wakayama-Nagoya Area Required by Allied Occupation Forces.

TO : The Central Liaison Committee, The Japanese Imperial Government, Tokyo, Japan.

1. The facilities and installations indicated below, as selected by representatives of the Supreme Commander for the Allied Powers will be required initially in the Osaka-Kyoto-Kobe-Wakayama-Nagoya Area for use of Allied occupation forces upon their arrival. Reconnaissance and inspection of facilities and installations to determine their suitability will be initiated about 15 September 1945 by representatives of the Supreme Commander for the Allied Powers. It is desired that twenty (20) officers and guides familiar with the various facilities indicated, with necessary motor transportation and interpreters be available on and after that date to accompany these representatives.

2. Type facilities and installations.

- a. Airfields - With all existing installations, facilities and equipment at such fields.
- b. Harbor - Minimum of 5 berths for ships

of

of 450 foot length and 30 foot draft; 2 berths for ships of 200 foot length and 22 foot draft; 3 lighter jetties with 6 foot draft; and one fueling jetty for tankers of 550 foot length and 34 foot draft.

- c. Petroleum Storage - Bulk terminal with minimum capacity of 137,000 U.S. barrels and connection to fueling jetty or wharf.
- d. Quarters - Headquarters Personnel.
 - (1) General Officers - Suitable hotel or apartment accommodations with appropriate appointments and furnishings for not less than 15 General Officers.
 - (2) Officers - Hotel accommodations or equivalent for not less than 3,000 officers.
- e. Cantonment Areas and Barracks - As required for occupation forces.
- f. Barracks - For 3500 men, without beds, bunks or bedding, based on 60 square feet per man in squad rooms.
- g. Separate Camp Area - For 23,000 men.
- h. Hospitals - 7,250 beds (allowance of 100 sq ft per bed).
- i. Office Space - 500,000 sq ft complete with office furniture and equipment.

is

- 3 -

- j. Motor Pool Space - 250,000 sq ft hard surfaced.
- k. Covered Storage - 730,000 sq ft.
- l. Open Storage - 2,800,000 sq ft.
- m. Shops - 430,000 sq ft.
- n. Refrigeration - 360,000 cu ft.
- o. Transport Equipment -
 - (1) Passenger vehicles,
 - Limousines - 500
 - (2) Trucks - 100 of 1 1/2 - 2 ton capacity
- p. Communication Facilities - wire, radio, telephone facilities, as directed by representatives of Supreme Commander for the Allied Powers.
- q. Utilities - Power, light, water, heat, sanitation, and other utilities as required for all installations listed herein.
- r. Construction Materials and Equipment - Lumber, cement, bitumen, sand and gravel, road and other materials and equipment as required.

3. At the time of transfer to Allied occupation forces, all buildings and facilities listed above will be clean, sanitary, equipped for their designed purpose, and ready for operation, and where specifically stated, equipped with furnishings as indicated. Motor Transportation, with qualified drivers, will be delivered fully gassed.

0390

- 4 -

gassed, serviced, and capable of sustained operation. Fuel and maintenance will be provided for the period these vehicles are operated for the Allied Occupation forces.

For the Supreme Commander:

(Sgd.) Harold Fair

Lt. Colonel, A.G.D.,
Asst. Adjutant General.

0391

外務省
第四第一部長宛

京師 中將 公使

陸軍側 京師 派遣 人員 間
スル 件

米軍 当方面 進駐 間シ 陸軍側
ニテハ 中將 少將 大佐 級 者 一 名ヲ
派遣 方 中 部 軍 間 知 アリタル 趣 也

電信案

外務省

是 如キ 委員 會ト 如何ナル 關係、立ツ
モノナルヤ 又、ハイインライシニ 及、エリイニ 由チ 既
ハ 当 局 施 政 部 一 切 交 渉
ハ 本 委員 會 一 切 之 内 以テ 之ヲ 方針ト
表 明 シ 居ルニ 付、右 軍 側 充 分 諒
解 ヲ シメ 置カレタシ

電信案

外務省

外務省
駐日第一部長宛

青部 中村公使宛

米軍進駐日取算概算書電報方
案申し候

進駐日取及其負数、準備、根
幹、高スエノナル、各方面共、本
件情報ヲ催促ナレ居ルヲ以テ大伴

電信案

外務省

ノトコロナリトモ、仰向合々、上概、要
折込シ電報アリナシ

電信案

外務省

外務省
第四部第一部長宛

京都 中村公使宛

米軍先遣將校ニ送ル件

「エリート」ハシライニ西大佐ハ一時半
当地ヲ看査使ヨリ關係官ヲ引合
ニ京阪神各方面ニ於ケル進駐

電信案一

外務省

必要ナル具(道路鐵道港灣設
備資金)ノ國ノ一般的説法ヲ總
キ一行ノ端ニ端足ノ意ヲ表シテ
自己ニ帰京、上京都、中京、
置キ各方面ニ五名程ヲ先遣隊
ヲスクナクテ本隊進駐四五日
派遣スル様進言スル意向ナリト

電信案一

外務省

バトリ尚尚大佐ノ態度ニ頗ル紳
 士的ニシテ日本側ノ自治ヲ尊重シ行
 キタシト云ハルニ態度ヲ示シ日本
 側ニ極メテ良好ナル印象ヲ残シタリ
 一行二十日午後二時空路帰京ノ
 事定

電信案

外務省

陽紙

昭和二〇一一〇〇八平 京都 九月十三日一四〇〇發 連

本省 十四日後 着

終戰後官 中村公使

(紀伊水道沖碇泊米船團ニ關スル件)

- 一 十一日午前五時三〇分大阪警備府紀伊防備隊司令ハ米國側ノ要請ニ依リ由良港四〇海里ノ海上ニ於テ米第五艦隊派遣隊指揮官ニ紀伊水道附近ノ海圖ヲ手交セリ
- 二 紀伊水道方面ノ掃海ハ十一日ヨリ實施セラレ今十三日頃完了ノ見込大阪灣方面ノ掃海ハ當分實施ノ模様
- 三 大阪警備府參謀長ハ米側ノ要請ニ依リ第五艦隊參謀長ト十二日午後二時面會ノ爲田邊方面ニ向ヘリ
- 四 紀伊水道沖ノ船團ハ空母ヲ含ム六七〇隻ヨリ成ル艦隊ニシテ紀伊水道附近ニ於テハ相當大規模ノ上陸行ハルルモノト判斷セラル

(了)

九月二十一日

終戰連絡中央事務局

第一課長 古山書記官殿

服部書記官

終戰後一課

本二十八日朝京都連絡地方事務局ヲ通シ電話連絡ヲ行ヒ見込

其後、状況左ノ通リ

- 一 名古屋地延進駐軍一歩兵五師團及ニ基地司令部 (Base Command) 一ノノ平定ヲヨリ成ル兵約二万三千他ニ交替部隊 (Replacements Units) 一ノノ平定ヲ
- 二 先遣部隊ニ岡崎大府半田ニ於テ宿營施設狀況視察ヲ行ヒ
- 三 先遣部隊ニ名古屋市内ノ宿營施設港湾施設視察ヲ行ヒ屋
- 四 現駐米軍、撤装、決定ヲ見込運物左ノ通リ
- 五 觀光ホテ (迎驛軍、撤装、請求文書ニ送而送付)
- 六 大和生命(三) (舊名、徹兵生命(三))

A'1-0-0-2

川名古屋市の公堂

四 本官目下 觀光ホシ内ニテ假平部所ヲ設ケ居ルニ將末愛知果
廳内ニ事務処設置ノ予定アリ

~~湘南鉄道中米事務局~~ 直轄電報局設置ノ予定アリ

五 本官東京本堂ノ際、津波官ニテ紹介ヲ受ケ見日本郵船會社
加藤某ニ為当地郵船ニテ求メ見付カス 右ノ何等カノ
説ニ非カヤ 折返申込事務被下

(註)

本便ハ名古屋駅長を以テ差シ兼シ見テ之ヲ運送任
斷ハ名古屋駅長を以テ之ヲ運送付下セリ

A-1-0-0-2

日本海軍安住大佐ニ對スル覺書

一九四五年九月十九日貴官ト所在米海軍ト先任指揮官リッガス少將ト間ニ行ハレタル協議ニ基キ米國進駐軍ノ上陸準備ノ爲所定ノ日時迄ニ左記事項ヲ完成スベキモノトス

一九四五年九月二十日中ニ左記事項ヲ完了スベシ

(一) 和歌山中心トスル五軒圈内 和歌浦灣並ニ紀ノ川鉄橋上流(下流

ヲ) 地区ノ凡ユル船舶並ニ小舟艇ノ航行禁止(碇泊並ニ陸上引揚)

(二) 紀ノ川河口ヨリ北方六軒ニ渉ル海岸地帯ノ凡ユル機雷障害物並ニ妨害物ヲ一掃スベシ

(三) 海岸ノ諸道路ヲ清掃スベシ

(四) 和歌山港(舟艇繫留所ヲ含ム)内ノ凡ユル船舶、廢物並ニ浮遊物ヲ清掃除去スベシ

(五) 波止場、棧橋ヲ清掃スベシ

(六) 揚塔機関(起重機ヲ含ム)ヲ最大限ニ整備スベシ

和歌山縣

二、日本官憲ハ九月二十四日ノ沿岸地帯視察ニ関スル指示ヲ度タル爲 和歌浦灣碇泊中ノ米艦「*エニテリア*」號來艦中ノ所在米

海軍最高指揮官リッガス少將ノ下ニ九月二十三日一六〇〇ニ出頭ス

ベシ

三、九月二十四日六時以後紀伊水道入口、今水道内、紀淡海峽(友ヶ島

水道)及鳴戸海峽ニ於ケル凡ユル船舶ノ航行ヲ禁止ス

四、九月二十四日一八〇〇ニ日本官憲ハ左記事項ヲ準備ノ上所在米海軍

最高指揮官リッガス少將ノ下ニ連絡スベシ

(一) 所要ノ通譯並ニ案内人

(二) 無線電話機(周波數ニ三〇八〇〇呼出符号「カソリン」並ニ其ノ操作

員及海上司令部ト英語ヲ又信ニ得ル者ト共ニ所在日本最

高機関(*Radio Frequency*)ニ設置ノ事

(三) 神戸及大阪地已並ニ和歌浦灣ニ於ケル凡ユル入渠、碇泊、海岸引揚

船舶及小舟艇ニ関スル正確ナル目錄ヲ通

(1) 和泉灘、能登入道、神皇正統記及繪巻、修正海圖五十海、
(2) 繪巻圖用、(3) 自傳軍書 (Mottos Shunshu) 卷八、入道、
並、繪巻、修正

朱海軍大佐

海軍大佐 佐々木 貞次

和歌山縣

SENIOR OFFICER PRESENT AFLOAT
(Administrative)

U.S.S. WASATCH (Flagship)
WAKAYAMA, JAPAN
9 October 1945.

Regulations Governing the Movement of Fishing Vessels from Vicinities of WAKAYAMA, WAKANOURA WAN, and OSAKI WAN to authorized KII SUIDO Fishing Ground and return.

1. Fishing activities may be commenced in authorized fishing grounds in KII SUIDO by fishermen from WAKAYAMA, WAKANOURA WAN, and OSAKI WAN and their vicinities, and other fishermen of WAKAYAMA Prefecture residing within the areas authorized for fishing. All areas shown on sketch map appended hereto are authorized for fishing activity unless marked "restricted". The following restrictions are imposed on the movements of fishing vessels and fishing craft until further notice:

(a) No fishing activity will be permitted within areas designated "restricted", these areas include certain channels, seadromes, and anchorages and are designated "restricted". Fishing vessels may proceed through WAKANOURA WAN restricted areas only by the indicated movement tracks shown in the sketch map appended hereto; movements will be during daylight hours and in accordance with (c) below.

(b) WAKAYAMA:

Fishing vessels from WAKAYAMA and fishing villages adjacent to WAKAYAMA will proceed unescorted to authorized fishing grounds in KII SUIDO and return to WAKAYAMA and adjacent vicinities by the indicated movement tracks shown in the sketch map. Movements to and from fishing grounds will not be permitted during the hours of darkness. Fishing will be permitted in areas adjacent to anchorages and seadrome areas during daylight only; fishing vessels lying in these areas or attempting to pass through or approach shipping during hours of darkness may be taken under fire.

(c) WAKANOURA WAN:

Fishing vessels from WAKANOURA WAN vicinity enroute to KII SUIDO will proceed to the U.S. Navy control vessel (the U.S. Navy control vessel will fly International "Q" Flag from its mast truck) for clearance and guiding through the WAKANOURA WAN restricted areas as follows:

- (1) At one hour after sunrise each day the U.S. Navy control vessel (awaiting about 1 mile offshore) will precede the fishing vessels and guide them through the restricted areas.
- (2) At two hours before sunset the control vessel (awaiting to seaward of WAKANOURA restricted area) will guide returning fishing vessels to the vicinity of WAKANOURA WAN. Movements of fishing vessels to authorized KII SUIDO Fishing Grounds, or from KII SUIDO Fishing Grounds to WAKANOURA WAN, will not be permitted during hours of darkness.

Fishing will be permitted in areas adjacent to anchorages and seadrome areas during daylight only; fishing vessels lying in these areas or attempting to pass through or approach shipping during hours of darkness may be taken under fire.

(d) OSAKI WAN:

Fishing vessels from OSAKI WAN vicinity will proceed to authorized fishing grounds in KII SUIDO and return to OSAKI WAN by the indicated movement tracks. Movement to and from fishing grounds will not be permitted during hours of darkness.

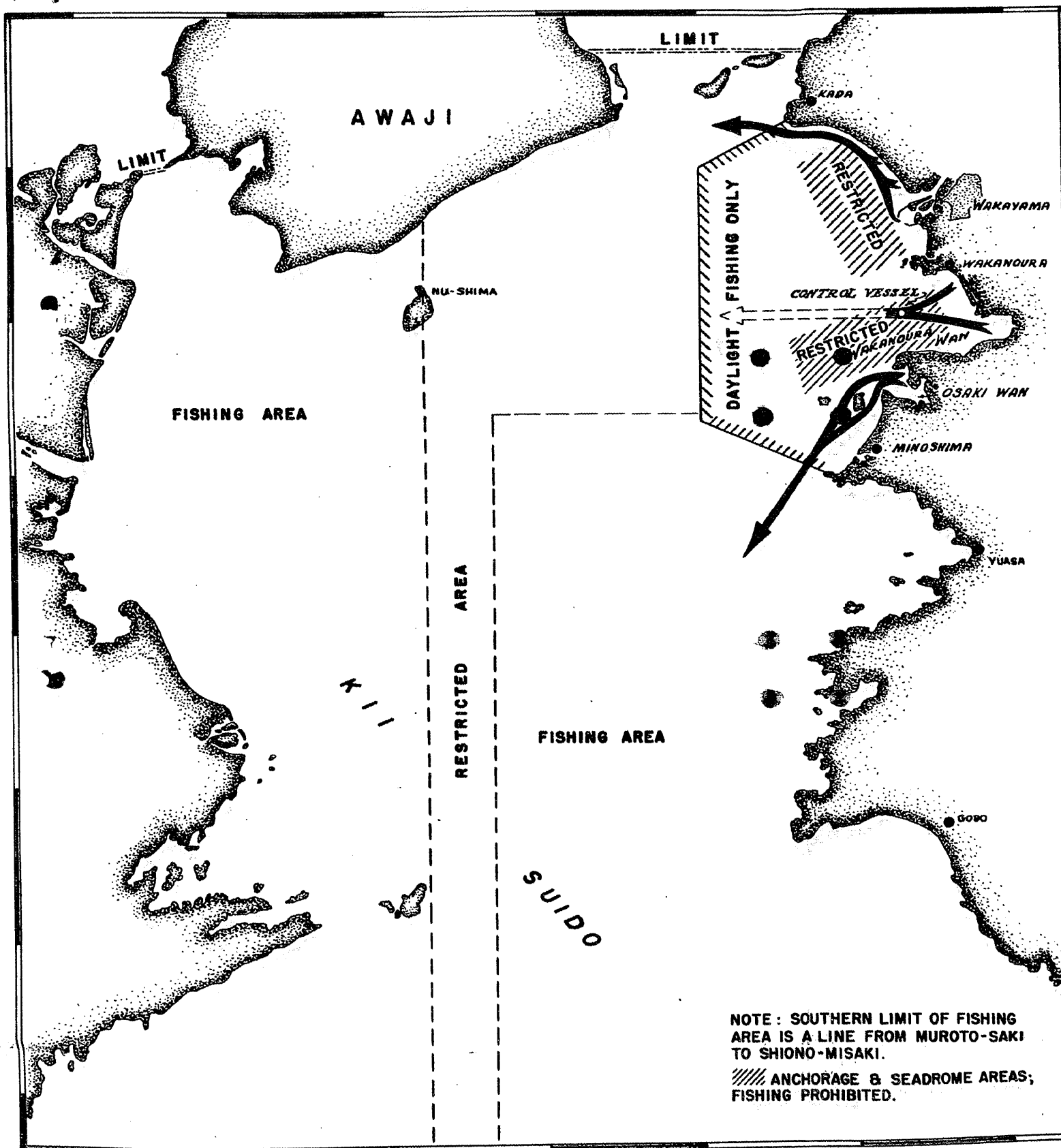
Fishing will be permitted in areas adjacent to anchorages and seadrome areas during daylight only; fishing vessels lying in these areas or attempting to pass through or approach shipping during hours of darkness may be taken under fire.

2. All fishermen concerned will be apprised of the above regulations and changes thereto.

A. G. NOBLE
Rear Admiral, U. S. Navy

Appendix: Sketch Map - KII SUIDO Fishing
Grounds and Restricted Fishing Areas.
(75 copies forwarded to Wakayama
Liaison Office)

AUTHENTICATED:
[Signature]
Lt. Comdr., USNR
Flag Secretary



VB3-12/A16-3

Wakanoura wan, Japan.

Serial 350

19 September 1945.

MEMORANDUM FOR COMMANDER OTICHI ANOGI, IMPERIAL JAPANESE NAVY.

Confirming the conversation between Rear Admiral Riggs, U. S. Navy, Senior Naval Officer Present, and yourself on 19 September 1945 the following items are to be accomplished by you by times stated in preparation of landing of United States Occupation Forces.

1. Prior to 23 September 1945:

- (a) Anchor or beach all vessels and small boats within radius of five kilometers of WAKAYAMA, in WAKANOURA WAN or upstream of railroad bridge across KINOKAWA.
- (b) Clear beach area from KINO KAWA Northward for six kilometer of all mines, obstacles, and obstructions.
- (c) Clear exits to beach.
- (d) Clear harbour space at WAKAYAMA including boat basin, of all shipping, trash, and floating debris.
- (e) Clear docks and piers.
- (f) Prepare maximum amount of unloading facilities, including cranes.

2. At 1600, 23 September, Japanese authorities report to Rear Admiral Riggs, in U.S.S. Montpelier, Senior United States Naval Officer Present, WAKANOURA WAN anchorage, to receive instructions regarding inspection of beaches on 24 September 1945.

3. From 0800, 24 September, prohibit movement of any waterborne craft in, or in approaches to, KII SUIDO, or through KITAN-KAIKYO (TONOGASHIMA SUIDO) or NARUTO-KAIKYO.

4. At 0800, 24 September, Japanese authorities contact Rear Admiral Riggs, Senior United States Naval Officer Present, prepared to provide:

- (a) Interpreters and guides as required.
- (b) Voice radio circuit on frequency 2308 KCS, voice call "GASOLINE", at local Japanese Headquarters together with personnel for and communications in English with commands afloat.
- (c) Ten copies of an accurate list of all shipping and all

small craft docked, anchored or beached in KOBE-OSAKA area and WAKANOURA WAN.

(d) Fifty copies of corrected charts of ISUMI NADA, KII SUIDO, and OSAKA harbors.

(e) Motor transports, guides, interpreters and police escorts for inspection parties.

W. L. ANDERSON,
Captain, D.S. Navy,
Chief of Staff.